

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市芦の口児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘	
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 10,847人（前年度比 109.1%） ・令和2年度 9,945人 ・令和元年度 21,612人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 31,778千円 (28,941千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服従規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

### 三 評価総括

《指定管理者(特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘)による自己評価》
<p>■児童健全育成事業■令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、小中高生の利用を制限せざる負えない状況で小学生は土曜日9時30分～11時30分迄、中高生は土曜日14時～16時まで利用時間を決めました。利用者は少ないものの、館日よりやブログで児童館の様子を発信したり、「おうち時間応援セット」を渡して繋がりを保つよう努めました。</p> <p>■子育て家庭支援事業■助産師さんが母親達の相談を個別で相談を受ける「ことりるーむ」では母親達に乳幼児の発達に必要なことは十分に愛された実感と遊びこむことだと励ましながら相談に丁寧にのっていただきました。また、月に1～2回乳幼児親子対象の行事は参加組数を決め予約制で行いました。毎回好評で親子で楽しく参加していただきました。</p> <p>■地域交流推進事業■「子育て支援クラブあしっこ」は館行事の協力や主催行事は子育てを終えた会員と子育て中の会員が和気あいあいと行っています。行事を児童館と共催したり、館だよりの「あしっコラム」や「野菜・花育て隊」を実施し地域の方々に発信、児童との交流を行いました。</p> <p>■放課後児童健全育成事業■コロナ禍という状況の中、クラブでは3密を避け、遊び方を工夫しながらストレスなく楽しくすごせるように工夫してきました。特に、長期休業日は小学校の施設や備品を借用したりするなど協力をいただきました。大きなケガや事故やいじめがおきないよう職員体制を手厚くしました。また、支援を要する児童に適切に対応するため団体独自で「児童館サポート事業」に取り組み、その考えを基本に当館では個人記録の作成や「こどもアンケート」を実施、その後「おしゃべりサロン」を行い、児童一人一人を理解し丁寧に向き合うことを心がけ、子どもたちが安心して過ごし、お互いが支え合い、育ちあう余裕がもてる支援と運営を今後も続けていきたいと考えています。</p>

《施設設置者(仙台市)による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、令和3年度から新たに0歳児を対象とした「まめっちょひろば」を開催した。歯科衛生士の話や地域のボランティアの方に講師として来ていただいたベビーサインやベビータッチケアは、育児の知識を得ると共に、親子の触れ合いや保護者同士の交流の場となり好評を得ている。「ことりルーム」においても地域の助産師さんがボランティアとして参加し定期的に開催している。様々なツールでの情報発信や乳幼児や小学生に向けて「おうち時間応援セット」を配布するなど、家庭での遊びの充実と共に児童館とのつながりが感じられるような取り組みも継続的に行っており、地域の親子を支援する環境作りに努めている。</p> <p>地域交流推進事業の一つとして「子育て支援クラブあしっこ」と共催し、毎週水曜日に「野菜・花育て隊」を実施している。この活動は自然体験や食育活動の場と共に、地域の方と出会う場・様々な世代の方と交流する場となっており、興味関心を広げながら社会性や自主性を育てている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、おやつや遊びの時間、内容を自分達で決めて予約するシステムを取り入れ、自己決定したり主体的に行動できる経験が重ねられるよう工夫している。また、子どもアンケートから「おしゃべりサロン」へと展開し一人一人が自己表現・自己発揮できる環境作りを行うなど、様々な取り組みを通して子どもの育ちを支えると共に、児童クラブ通信を毎月発行して保護者との連携強化に努めている。</p>	S

### 四 その他特記事項(上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課) : 子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課